

入選

私も、あの人みたいになりたい

広島県 霞小学校 4年 宮川 真奈

ある日スイミングに行くエレベーターで、とてもうれしいことがありました。スイミングは、高いビルの9階にあります。私はその日が少しいやでした。なぜなら、こじんメドレーのテストの日だからです。(タイムがおそくなったらどうしよう。コーチになにか言われるかな。)と思いつつ、エレベーターに乗りました。

「3階です。」

と、エレベーターが3階で止まりました。すると、乗ってきたのは、外国の女の人でした。私は暗い顔をしていました。そうしたら、女の人が、

「どうしたの。そんな顔して。今日スイミング？ なにかあったの。」

と言ってくれました。

「今日、200mこじんメドレーのテストなんです。タイムがどうなるかが不安で。なにかコーチに言われるかもしれないし。」

するとその女の人が、

「なーんだ。そんなことか。よくあるよね。でも、自信もって。タイムがおそくなったらいいじゃない。コーチはなにも言わないわ。あなたが、一生けん命泳いだら、だれも、なにも言わないよ。ただね、『がんばったね』って言うだけ。なによりも、200mも泳ぎきることがまずすごいよ。自信もってむねはって、テストを受けておいで。」

私は、この言葉をきいて、自信がもてました。

「9階です。」

と、エレベーターが鳴りました。私は、

「ありがとうございます。一生けん命泳いできます。」

といいました。するとその女の方は、

「あ！ 私、8階でおられるんだっただあ。私のいけないところね。じゃあテストがんばって。」

と言って、8階までおりていきました。

私はその外国の女の方の言うとおりに、一生けん命泳ぎました。そしてそのタイムは、4分50秒35でした。ごうかくまでは少し届かないけれど、前のテストのタイムは5分3秒02だったので、約7秒も速くなりました。おそくなるどころか、7秒も速く泳げたのでした。

エレベーターで外国の女の方に出会わなかったら、こんなに速く泳げていなかったと思います。私は、あの女の方にとっても感しゃしています。私も女の方を見習い、だれかを勇気づけてあげられる人になりたいと思います。